

## 《女川原子力発電所に新しい仲間を迎えました》



今年度も、当発電所に新入社員13名を迎えました。  
若さ溢れる新しい仲間には、柔軟な発想と向上心で職場にフレッシュな風を吹き込んでくれることを期待しています。  
原子力発電に関する業務知識・技能の習得はもとより、地域に貢献できる人材となるよう、しっかりと育ててまいります。

### 新入社員の抱負



生まれ育った女川町をはじめ、地域の皆さまに恩返しをするため、日々の仕事に全力で取り組んでいきます。

発電部 発電管理グループ  
すだ かいと  
**須田 海斗**(女川町出身)

少しでも地域の皆さまのお役に立てるよう、精いっぱい頑張りたいと思います。



発電部 発電管理グループ  
ごとう けいた  
**後藤 啓太**(石巻市出身)

## 《ローズガーデンフェスタ2022を開催します》

女川原子力PRセンターでは、「ローズガーデンフェスタ2022」を開催いたします。  
期間中は、約120種類ものバラが見ごろを迎え、色鮮やかに咲き誇ります。ぜひご家族・ご友人などお誘い合わせのうえお越しください。

おねがい

新型コロナウイルス感染防止の観点から、ご来館いただく際には、女川原子力PRセンターへお電話での事前申込をお願いいたします。

お問い合わせ先

女川原子力PRセンター (〒986-2221 女川町塚浜字前田123)  
開館時間 9:30~16:30 電話番号 0225-53-3410

開催期間 6月1日(水)~30日(木)

<6月2日(木)、6月20日(月)は休館日>



昨年の様子が  
YouTubeで  
ご覧いただけます



バラと一緒に記念撮影  
写真のプリントサービス付き♪





## 《国際原子力規制者会議が女川原子力発電所を視察しました》

「国際原子力規制者会議※1」の日本開催に伴い、5月5日、6カ国※2の規制機関トップが当発電所を訪れ、海拔29mの「防潮堤」などの各種安全対策の状況を視察しました。

視察者からは、「発電所の停止期間が長くなっているが、運転員などの継続的な能力確保のために取り組んでいることはあるか」との質問や「安全に対する姿勢、再稼働への取り組みに感銘を受けた」などのコメントがありました。

当発電所では、引き続き、より高いレベルでの安全確保に向けて、取り組んでまいります。

※1 世界の主要な原子力プラント保有国の規制機関トップをメンバーとする会合を定期的に開催し、規制課題等の関心事項についての意見交換などを行う枠組み。

※2 カナダ、フランス、日本、スペイン、スウェーデン、イギリス(ドイツ、韓国、アメリカは、会議のみ参加)



視察者と当社との意見交換



「防潮堤」の視察



説明を受ける原子力規制委員会 更田委員長(左)

## 《女川1号機の廃止措置状況についてお知らせします》

1号機は、原子力規制委員会より認可された廃止措置計画に基づき、2020年7月28日より廃止作業に着手しており、現在は「放射線管理区域外※1設備の解体撤去」や「汚染の除去」などを実施しています。

廃止措置にあたっては、引き続き、安全最優先で取り組むとともに、分かりやすい情報発信に努めてまいります。

実施状況の一例 2022年3月に「タービン発電機用ガスポンプ建屋※2」の解体撤去を完了しました。

廃止措置の状況がホームページからもご覧いただけます。

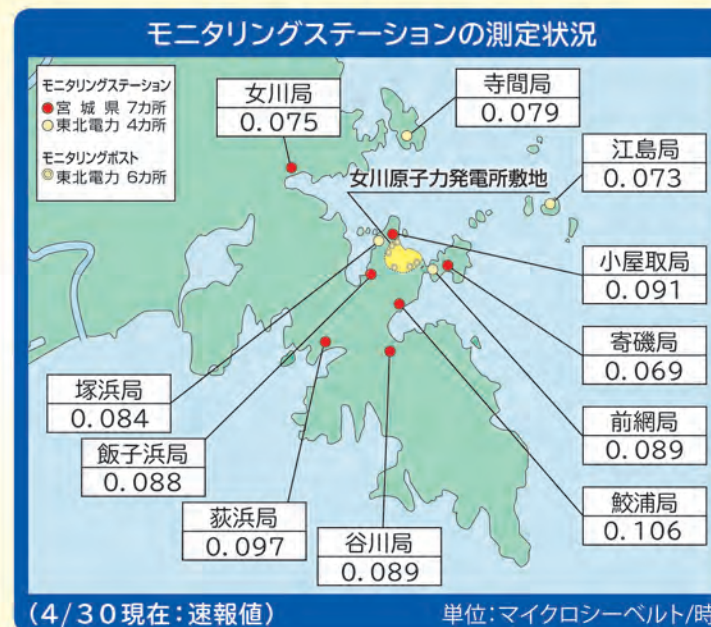


※1 放射性物質による汚染のない区域  
 ※2 発電機の運転・停止時に使用するガスなどを貯蔵する建屋

## 《女川原子力発電所周辺の放射線量は安定しています》

女川原子力発電所周辺の放射線はモニタリングポスト※1やモニタリングステーション※2で測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。

発電所敷地内に設置してあるモニタリングポストの2022年4月30日の測定値は、最大で0.051マイクロシーベルト/時程度で安定しており、健康に影響を与えるレベルではありません。



(参考) モニタリングポストの最小値と最大値※3

〈東北地方太平洋沖地震発生日〉	最小値	最大値
2011年3月11日	0.027	0.064
〈地震発生後最大値〉		
2011年3月13日	1.8	21※4
〈地震発生から2年と至近2年の(4/1)値および前月値〉		
2012年4月1日	0.063	0.098
2013年4月1日	0.055	0.076
}	}	}
2020年4月1日	0.034	0.055
2021年4月1日	0.034	0.047
2022年4月1日	0.033	0.045
2022年4月30日	0.033	0.051

単位:マイクロシーベルト/時

※1 モニタリングポストは発電所敷地周辺の環境放射線を測定しています。女川原子力発電所の敷地境界には6基のモニタリングポストが設置されています。

※2 モニタリングステーションは環境放射線に加えて気象データを測定しています。

※3 モニタリングポストの測定値は、宇宙線(宇宙空間を飛び交う高エネルギーの放射線)の影響分が含まれないため、モニタリングステーションの測定値より0.02~0.04マイクロシーベルト/時程度低い測定値となっています。

※4 東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出に伴い測定されたもので、測定された時間は約10分間です。

## 3月16日の地震の観測記録を用いて2号機原子炉建屋への影響などを評価しました

3月16日に発生した福島県沖を震源とする地震(以下、「3.16地震」)では、当発電所において最大加速度値※367.5ガルを観測しましたが、安全上重要な設備に被害がないことを確認しています。

一方で「3.16地震」は、2号機が運転していた場合に原子炉を自動停止させるようなレベルであったことから、自主的な保安活動の一環として、2号機原子炉建屋への影響などを評価しました。

その結果、原子炉建屋の耐震設計が妥当であること、「3.16地震」に対する原子炉建屋の健全性が確保されていることを確認しました。

※地震の揺れの強さを表した数値で、数字が大きいほど揺れも大きくなる。